※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）LL 演習	2	3	表現のための基礎英語構文ノート８６

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目では、英語の四技能五領域（「話す(発表・やりとり)」「書く」「聞く」「読む」）のうち、特に「話す（発表・やりとり）」「聞く」に主眼をおいて展開される。
・ALT が常駐する科目となるので、単に英語を文法構造的に理解するだけではなく、コミュニケーションスキルや、話そうとする主体性なども重要となってくるため、座学という感覚ではなく、実習科目という意識をもち受講することを望む。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	◆料理や工作などの作業の指示について、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる ◆ダンスなど一連の行動について、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる	◆趣味やスポーツなど、日常的なトピックに関する文の要点を理解することができる ◆簡単な英語で表現されていれば、旅行ガイドブックやレシピを読んで、自分にとって必要な情報を理解することができる	◆駅や店などの日常的な場面において、さまざまな語句や表現を用いてやり取りすることができる ◆簡単な語句や表現を使って、意見を伝えたり、人や物を比べたりすることができる	◆写真や地図など視覚的補助を利用しながら、学校や地域など身近な話題について、短いスピーチをすることができる ◆理由とともに自分のスケジュールや 身近な話題に対する意見等を短く述べること ができる	◆身近な話題に関して、経験したことや自分に関係のあることであれば、簡単な描写ができる ◆身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を、簡単な語句や基礎的な表現を用いて書くことができる

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する知識をつけ、理解を深めようとしている。 ・聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	“課題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	・Weekly Diary ・It を含む構文 ・不定詞を含む構文 ・スピーチ①	聞くこと	a：ディクテーション活動でワークシートなどに正確に聞き取りができる b：ペアでの会話活動において、英語を正確に聞き取ることができる c：ペア活動やディクテーション活動など前向きに取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
		読むこと	a：Weekly Diary やスピーチの英文の原稿を正確に読むことができる b：学習した構文を正確に読み、自分の表現に置き換えることができる c：ペア活動や音読活動、スピーチの練習など前向きに取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
		話すこと（発表）	a：スピーチの英文の原稿を自分の言葉で表現することができる b：相手の質問に対して正確に返答することができる c：スピーチを前向きに行い、主体的に表現しようとしている	授業内活動 授業内考査
		書くこと	a：ディクテーション活動でワークシートなどに正確に聞き取りができ、それを英語で書きとることができる b：Weekly Diary やスピーチの原稿を自らの言葉で表現し、英文を完成することができる c：ディクテーション活動やスピーチの作成に前向きに取り組み、英語で書こうと取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
	中間考査（実施予定なし）			
	・Weekly Diary ・不定詞を含む構文 ・動名詞を含む構文 ・スピーチ②	聞くこと	a：ディクテーション活動でワークシートなどに正確に聞き取りができる b：ペアでの会話活動において、英語を正確に聞き取ることができる c：ペア活動やディクテーション活動など前向きに取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
		読むこと	a：Weekly Diary やスピーチの英文の原稿を正確に読むことができる b：学習した構文を正確に読み、自分の表現に置き換えることができる c：ペア活動や音読活動、スピーチの練習など前向きに取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
		話すこと（発表）	a：スピーチの英文の原稿を自分の言葉で表現することができる b：相手の質問に対して正確に返答することができる c：スピーチを前向きに行い、主体的に表現しようとしている	授業内活動 授業内考査
		書くこと	a：ディクテーション活動でワークシートなどに正確に聞き取りができ、それを英語で書きとることができる b：Weekly Diary やスピーチの原稿を自らの言葉で表現し、英文を完成することができる c：ディクテーション活動やスピーチの作成に前向きに取り組み、英語で書こうと取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
	期末考査			
2	・Weekly Diary ・分詞を含む構文 ・関係詞を含む構文 ・ディベート①	聞くこと	a：ディクテーション活動でワークシートなどに正確に聞き取りができる b：ペアでの会話活動において、英語を正確に聞き取ることができる c：ペア活動やディクテーション活動など前向きに取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
		読むこと	a：Weekly Diary やディベートの英文の原稿を正確に読むことができる b：学習した構文を正確に読み、自分の表現に置き換えることができる c：ペア活動や音読活動、ディベートの練習など前向きに取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
		話すこと（やりとり）	a：ディベートの英文の原稿を自分の言葉で表現することができる b：相手の質問に対して正確に返答することができる c：ディベートを前向きに行い、主体的に表現しようとしている	授業内活動 授業内考査

※令和４年度以降入学生用

		書くこと	a：ディクテーション活動でワークシートなどに正確に聞き取りができ、それを英語で書きとることができる b：Weekly Diary やディベートの原稿を自らの言葉で表現し、英文を完成することができる c：ディクテーション活動やディベートの作成に前向きに取り組み、英語で書こうと取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
	中間考査（実施予定なし）			
	・Weekly Diary ・関係詞を含む構文 ・助動詞を含む構文 ・ディベート②	聞くこと	a：ディクテーション活動でワークシートなどに正確に聞き取りができる b：ペアでの会話活動において、英語を正確に聞き取ることができる c：ペア活動やディクテーション活動など前向きに取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
		読むこと	a：Weekly Diary やディベートの英文の原稿を正確に読むことができる b：学習した構文を正確に読み、自分の表現に置き換えることができる c：ペア活動や音読活動、ディベートの練習など前向きに取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
		話すこと (やりとり)	a：ディベートの英文の原稿を自分の言葉で表現することができる b：相手の質問に対して正確に返答することができる c：ディベートを前向きに行い、主体的に表現しようとしている	授業内活動 授業内考査
		書くこと	a：ディクテーション活動でワークシートなどに正確に聞き取りができ、それを英語で書きとることができる b：Weekly Diary やディベートの原稿を自らの言葉で表現し、英文を完成することができる c：ディクテーション活動やディベートの作成に前向きに取り組み、英語で書こうと取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
	期末考査			
3	・Weekly Diary ・接続詞を含む構文 ・スピーチ③	聞くこと	a：ディクテーション活動でワークシートなどに正確に聞き取りができる b：ペアでの会話活動において、英語を正確に聞き取ることができる c：ペア活動やディクテーション活動など前向きに取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
		読むこと	a：Weekly Diary やスピーチの英文の原稿を正確に読むことができる b：学習した構文を正確に読み、自分の表現に置き換えることができる c：ペア活動や音読活動、スピーチの練習など前向きに取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
		話すこと （発表）	a：スピーチの英文の原稿を自分の言葉で表現することができる b：相手の質問に対して正確に返答することができる c：スピーチを前向きに行い、主体的に表現しようとしている	授業内活動 授業内考査
		書くこと	a：ディクテーション活動でワークシートなどに正確に聞き取りができ、それを英語で書きとることができる b：Weekly Diary やスピーチの原稿を自らの言葉で表現し、英文を完成することができる c：ディクテーション活動やスピーチの作成に前向きに取り組み、英語で書こうと取り組むことができる	授業内活動 授業内考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度